

# 平成30年度 事業報告

## ○公益社団法人下松市シルバー人材センター

### 1 概況

平成30年度の我が国の経済は、昨年夏に相次いだ自然災害により、個人消費や輸出を中心に経済は一時的に押し下げられたものの、各種政策の効果もあって、緩やかに回復してきています。

他方、少子高齢化という大きな壁に立ち向かっていくために、高齢者を含めた働き方改革等諸施策を推進し、誰もが生きがいをもって充実した生活を送ることができる「一億総活躍社会」の実現に向けた動きが活発になってきていますが、高齢者が培ってきた知識や能力を活かして地域に密着した仕事に就き、ボランティアなど様々な社会活動に参加・貢献する組織として、シルバー人材センターの役割が、さらに増してきています。

しかし、近年のシルバー人材センターを取り巻く環境は、民間事業所での適正就業の推進、雇用の延長等によって、新規会員が伸び悩むなど厳しい状況が続いています。

このような状況の中、当センターにおいては、会員・役職員が一丸となり、地域社会の信頼と期待に応えながら、シルバー人材センター事業の推進を図るべく、就業機会の確保・拡大に努めてまいりました。

以下、平成30年度事業実施概要について報告します。

#### (1) 会員の動向

会員の状況は、年度末会員数488人（男性315人、女性173人）となり、前年度の498人（男性314人、女性184人）と比べ10人の減となりました。

#### (2) 事業実績

受託事業の事業実績は、受注件数2,170件で、前年度の2,185件に対して、15件の減、契約金額は約2億914万円で、前年度の約2億2,392万円から約1,478万円の減となりました。

また、労働者派遣事業については、受注件数41件で、前年度の37件に対して、4件の増、事業実績は15事業所へ47人の会員を派遣し、契約金額約2,769万円で、前年度の約2,751万円に比べ約18万円の増となりました。

受託事業及び労働者派遣事業の合計が約2億3,683万円で、前年度の約2億5,143万円から約1,460万円の減となりました。

なお、収支決算については、経常収益計が約2億5,677万円、経常費用計が約2億5,679万円で、約2万円の減となりました。

就業率については、87.5%となり、前年度の91.6%から4.1ポイントの減となりました。

### (3) 組織体制の充実強化

第二次中期基本計画に掲げる課題の実現と計画の推進に向けて、総務・広報・就業開拓・安全の各委員会を中心に、組織の活性化に取り組みました。

また、平成30年度は、第二次中期基本計画の最終年度となるため、新たに、平成31年度を初年度とする5年間の第三次中期基本計画を策定しました。

会報「星のさと」「事務局だより」等を配付し、会員への情報提供と連帯意識の高揚を図りました。

独自事業として、引き続き、正月飾り製作班の輪飾り・門松づくり、ハーブの会の軽食・スイーツづくり、布倶楽部の布製品・小物づくり、木工品製作班の木工品づくりの各事業を実施しました。

### (4) 就業開拓

就業開拓推進員により、官公庁、民間企業及び一般家庭等を逐次訪問し、シルバー人材センター事業のPRを行うとともに、就業情報を収集し、就業機会の開拓に努めました。また、未就業の会員を対象とした「共同作業」を実施し、未就業会員が一人でも多く就業するきっかけとなるように取り組みました。

### (5) 普及啓発活動

市の広報やマスメディアを活用し、シルバー人材センター事業の普及啓発に努めました。普及啓発促進月間中の10月27日(土)には、市内の中心地域を対象とした、道路清掃のボランティア奉仕作業を実施しました。

また、11月1日(木)に「第10回グラウンド・ゴルフ大会」、12月2日(日)には市の福祉イベントに参加し、一般市民へのシルバー人材センター事業の周知を図りました。

### (6) 安全・適正就業の確保

安全就業については、「安全だより」の発行及び安全パトロールを実施し、安全への周知徹底を図りました。

また、安全・適正就業啓発の一環として、7月14日(土)“ほしらんどくだまつ”において、「安全・適正就業推進大会」を開催しました。

「事故ゼロ」を目標に掲げて、安全就業に積極的に取り組みましたが、就業中の会員負傷事故が1件、物損事故が1件発生しました。会員・役職員が一体となり、今後も尚一層事故の防止に努める必要があります。

適正就業については、会員への適正就業基準の周知及び発注者への適正就業ガイドラインを活用した周知と理解の促進に努めました。

(7) 福利厚生

会員相互の親睦交流を図るため、「日帰り親睦旅行」を11月17日(土)に実施、平成31年2月9日(土)には会員研修会と併せて親睦会を開催して、会員相互の交流を深めました。

また、会員の健康づくりや同好会活動に対し、活動場所の提供など側面的な援助を行いました。

## ○ 下松市勤労者総合福祉センター

### 1 概 況

#### (1) 施設の利用促進

センターの有効かつ公平な利用を図るため、市をはじめ各関係団体及び一般市民の協力を得ながら利用者の増加に努めました。

#### (2) 施設の維持管理

築後30年以上経過して、施設・設備の老朽化が進んでいますが、良好な維持管理を継続していくため、日常点検及び各専門業者による点検委託を実施するとともに、老朽箇所の修繕・補修を行いました。

#### (3) 施設の利用状況

##### ①体力づくり

体力増進、健康保持のため、スポーツ教室の開催及び卓球、バドミントンなどスポーツの場としての利用を図りました。

##### ②教養文化

書道、オカリナ、大正琴等各種講座を開催しました。

#### (4) 就業支援

ハローワークの求職情報を掲示するとともに、技能講習会場としての活用に努めました。